

平成29年度第3Q定期試験・補講日程表  
工学研究科

平成29年11月17日掲載  
工学研究科学務課教務学生係

所属	実施種別	実施日	実施時限	開講授業科目名称	時間割コード	主担当教員	使用教室	試験の持込資料	備考
博士課程前期課程	補講	11月21日	3・4限	知的財産の基礎	3T175	開本 亮	LR301		
	試験	11月24日	4限	知的財産の基礎	3T175	開本 亮	K501(鶴甲・情報処理教育演習室)		
博士課程前期課程 建築学専攻	試験	11月27日	2限	空間構成論1	3T160	田中 剛	LR403	関数電卓のみ	
	試験	11月28日	2限	建築構造計画論1	3T163	山邊 友一郎	LR304	なし	
	試験	12月7日	2限	建築動力学1	3T171	向井 洋一	C2-302	教科書	建築動力学2の第1回目講義日の前半に試験を行う
	補講	11月28日	1限	音環境評価論A	3T162	佐藤 逸人	C1-201		
	補講	11月29日	1限	西洋建築・都市史特論A	3T168	中江 研	A-303		
	補講	11月29日	1限	鋼架構論1	3T167	多賀 謙藏	C1-201		
	補講	11月30日	2限	建築動力学1	3T171	向井 洋一	C2-302	教科書	建築動力学2の第1回目講義日の前半に試験を行う
博士課程前期課程 市民工学専攻	試験	11月28日	3限	意思決定論	3T178	喜多 秀行	C2-202	A5版自筆手書きメモ(片面)1枚のみ可	
	補講	11月24日	3・4限	応用マイクロ経済学	3T182	小池 淳司	C2-202		
博士課程前期課程 電気電子工学専攻	試験	11月16日	3限	光デバイス工学特論	4T103	小島 磨	LR404	あり	
	試験	11月28日	1限	有機エレクトロニクス	3T184	北村 雅季	LR203	すべて可	
	補講	11月27日	3限	画像処理特論A	3T183	黒木 修隆	C4-201		
博士課程前期課程 機械工学専攻	試験	11月27日	1限	信頼性工学I	3T185	阪上 隆英	LR204	持込可	
	試験	11月29日	2限	熱流体計測論I	3T191	細川 茂雄	C1-201	自筆ノート、関数電卓のみ持ち込み	
	補講	11月27日	2限	熱エネルギーシステム工学I	3T192	浅野 等	LR303		
	補講	11月24日	2限	複合材料学I	3T196	田中 拓	LR203		通常の講義を実施
	補講	11月30日	2限	ロボティクスI	3T193	横小路 泰義	C1-201		
	補講	調整中		マルチスケール固体力学I	3T194	長谷部 忠司			
博士課程前期課程 応用科学専攻	試験	11月28日	2限	機能性分子論1	3T201	竹内 俊文	自然702		
	補講	11月24日	2限	生物分離工学1	3T208	勝田 知尚	C1-201		
	補講	11月24日	3限	単位操作論1	3T209	今駒 博信	C1-201		
	補講	11月28日	3限	触媒化学特論1	3T198	市橋 祐一	C2-302		授業時間内にプレゼンで実施

平成29年度第3Q定期試験・補講日程表  
システム情報学研究科

所属	実施種別	実施日	実施時限	開講授業科目名称	時間割コード	主担当教員	使用教室	試験の持込資料	備考
博士課程前期課程	補講	11月24日	2限	集合論特論	3X012	ブレンドル ヤーグ	自3-421		
	補講	11月27日	3限	計算理論	3X008	酒井 拓史	LR304		
	補講	11月29日	2限	集合論特論	3X012	ブレンドル ヤーグ	自3-421		
	補講	調整中		システム計画学特論	3X007	貝原 俊也			
博士課程前期課程 計算科学専攻	補講	11月27日	2限	計算生物学	3X003	田中 成典	LR204		
	補講	11月30日	3限	計算生物学	3X003	田中 成典	LR204		

# 試験に関する注意事項

1. 受験の際、学生証を必ず携帯すること。
2. 試験室にて不正行為のあるときは、直ちに厳重なる処罰をする。  
#学生便覧を参照のこと
3. 試験開始後20分間は、受験者の退室を認めない。
4. 試験開始後20分を経過した後は、受験者の入室を許さない。
5. 答案用紙は、答案の成否に拘らず各枚毎に必ず学籍番号・氏名を記入して提出すること。
6. 答案用紙に他事記載を禁ずる。もしこれを記載したときは不利益を受けることがある。
7. 試験に不必要なものは、一切鞆類の中へしまいか又は所定の場所へ置くこと。
8. 一旦退室した者は、いかなる理由によっても受験者全員の答案回収が済むまで再入室を許さない。
9. 携帯電話等の通信機器を時計もしくは電卓の代わりに使用することは一切認めないので、必ず電源を切った上で鞆等の中へしまっておくこと。試験中にこれらの機器に触れている場合もしくは机の上あるいは中に置いている場合は、不正行為とみなすので注意すること。  
(なお、試験時間中にかばん等の中で着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出すことがある。)
10. 警報等の発令により試験が実施されなかった場合、代替日はその都度掲示する。